防災 - 減災推進研修会

○日時:令和4年1月30日(日)

午後1時から午後2時30分

◦場所:下倉田地域ケアプラザ

○ 主催:下倉田地区連合会

◦ 講師:(公社)横浜市防火防災協会講習課

滝沢 宏 氏、川原 伸悟 氏

地域のみんなで防災・減災を!

「防災・減災推進研修会」開催のご案内

私たちは、阪神・淡路大震災(平成7年1月発生)、東日本大震災(平成23 年3月発生)、熊本地震(平成28年4月発生)など大震災を経験し、さらに近 する大型台風による風水害・土砂災害に備えなければなりません。

また、新型コロナウイルス感染症やインフルエンザの同時流行時に大地震 や大型台風よる災害が同時に発生(複合災害)することも予想されます。

そこで、今後予想される大地震や風水害に対する「防災・減災啓発事業」 として、標記研修会を次のとおり開催します。横浜市防火防災協会の講師が 分かりやすく説明しますので、ぜひご参加をお願いいたします。

- 1 日時 令和4年1月30日(日) 午後1時から午後2時30分まで(開場:午後0時45分)
- 2 場所 下倉田地域ケアプラザ 多目的ホール
- - ・地域における被害想定/基本的な災害への備え(自助・共助の取組)
 - ・地震火災への備え(地震火災の危険性、感震ブレーカー設置助成等)
- ・風水害への備え(マイ・タイムラインの作成方法)
- 4 主催 下倉田地区連合会
- 講師 (公社)横浜市防火防災協会講習課 河原 伸吾 氏、滝沢 宏 氏
- 6 参加対象者 自治会町内会会長及び防災担当者、地区連合会役員
- 7 参加申込先・問合せ先

令和4年1月5日(水)までに団体ごとに参加者の氏名・電話番号を記載し て下倉田地区連合会副会長 新倉あてEメールで申し込んでください。

Eメールアドレス: monsieur. hiro. 0163@gmail. com







シェイクアウト訓練





私たちは、近い将来発生が予 想される首都直下地震・南海 トラフ巨大地震のほか毎年発 生する大型台風による風水 害・土砂災害に備えなければ なりません。この度、横浜市 防火防災協会から二人の講師 をお迎えして「防災・減災推 進研修会」を開催しました。 コロナ禍で参加対象者を絞り、 21名が参集しました。自宅 の耐震化と家具の転倒防止、 感震ブレーカー設置、ハザー ドマップで地域を知り、地域 の隠れた危険を把握するなど 備えについて考える時間を共 有することができました。地 域や家族にも本研修会で学ん だことを伝えて、防災・減災 の意識向上を図れればと思い ます。





1. 自助・共助の重要性

元禄型関東地震による被害想定 (横浜市地震被害想定調査報告書・2012年10月)

●死者: 3,260人

●避難者数:577,000人

●火災による焼失棟数

全烷:77,700棟

●建物倒壊等による被害

被害総数: 112,000棟

● 津波による死者数:595人

(慶長型地震を採用)









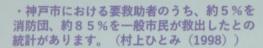
自動・共動の必要性

自分の身は自分自身で守り、さらには互いに助け合って地域を守る、

地域で自活する備えが必要。

救出の8割以上は一般市民だった

阪神·淡路大震災 1995年 M7.3



・西宮市における地震発生後3日間の火災41 件のうち、住民が初期消火を実施した火災は 28件(68%)







初期消火箱











